

牛乳パックを再生紙に！

身の回りの環境問題

私たちの周りには、さまざまな自然・環境問題があります。

- ・空気、水、海、土のよごれ
- ・野生の生物の減少
- ・自然の減少
- ・気候変動 など

実は、これらの問題の多くに「ごみ・リサイクル」が関係しています。

たとえば、

- ◆ごみを埋めたてる ⇒ 海岸や野山がへる ⇒ 自然の減少 ⇒ 野生の生き物も減少
 - ◆ごみを燃やす（石油を使用した場合） ⇒ 二酸化炭素などが出る ⇒ 地球温暖化の原因
- など、ごみを出すことは、私たちの自然や環境の問題とつながっています。

リサイクルするとどうなる？

ゴミが減るのはもちろん、

木を切って紙にするよりも使うエネルギーが少なくすむ。

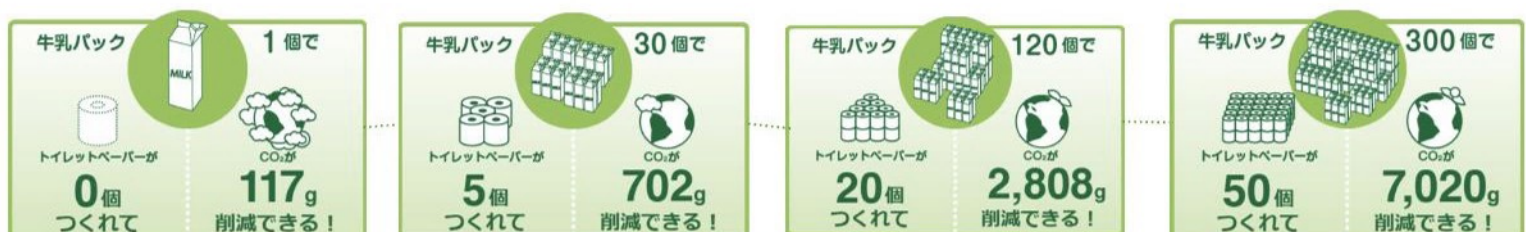
飲み終わった牛乳パック、そのまま捨てればゴミになります。ゴミになれば、焼却するためにエネルギーが必要です。使われるエネルギーは石油や天然ガスなどの限りある資源ですから、大切にしなければなりませんし、焼却にはCO₂が発生してしまいます。

例えば、もともと木を原料につくられている牛乳パックから紙をつくれれば、はじめから木を切って紙にするよりも使うエネルギーが少なくすみます。しかも、牛乳パックは繊維の品質の高い素材が使われていて、リサイクルしやすいのです。

日本で使われる牛乳パックは年間で約45億箱です。それらをゴミにするかリサイクルするかは、私たち次第なのです。

牛乳パックをリサイクルするほど、CO₂の削減につながる。

CO₂の排出量を抑えるには、牛乳パックをリサイクルすることが有効です。もちろん、木から紙をつくるよりも、牛乳パックをリサイクルした方が、CO₂の排出量を抑えることができます。



私たちができること

- ・ごみを資源にもどして作りかえた「リサイクル製品」や環境へのえいきょうが少ない「エコ製品」を選ぶ。
- ・リサイクルしやすいつくり、リサイクルしやすい材料を使った製品を選ぶ。
- ・環境に悪いものをできるだけ使っていない食物、製品を選ぶ。
- ・近くで生産された食物、製品を買かう。
- ・少ないエネルギーを使って作ったり、運ばれた食物、製品を選ぶ。
- ・作るとき、運ばれるときに二酸化炭素を出す量の少ない食べ物もの、製品を選ぶ。
- ・ゴミを分別する。

他にも、地球温暖化、大気汚染など、さまざまな環境問題のことも心がけることが大切です。

参考文献

<http://www.cjc.or.jp/j-school/d/d-1-7.html>
小学生のための環境リサイクル学習ホームページ

<https://www.marutomi-seishi.co.jp/environment/recycle/know/>
丸富製紙株式会社地域未来牽引企業

感想

牛乳パックはリサイクルできる事は知ってたけど、リサイクルしやすい事や繊維の品質の高い素材が使われていて、リサイクルしやすい事は知らなかったのでびっくりしました。

